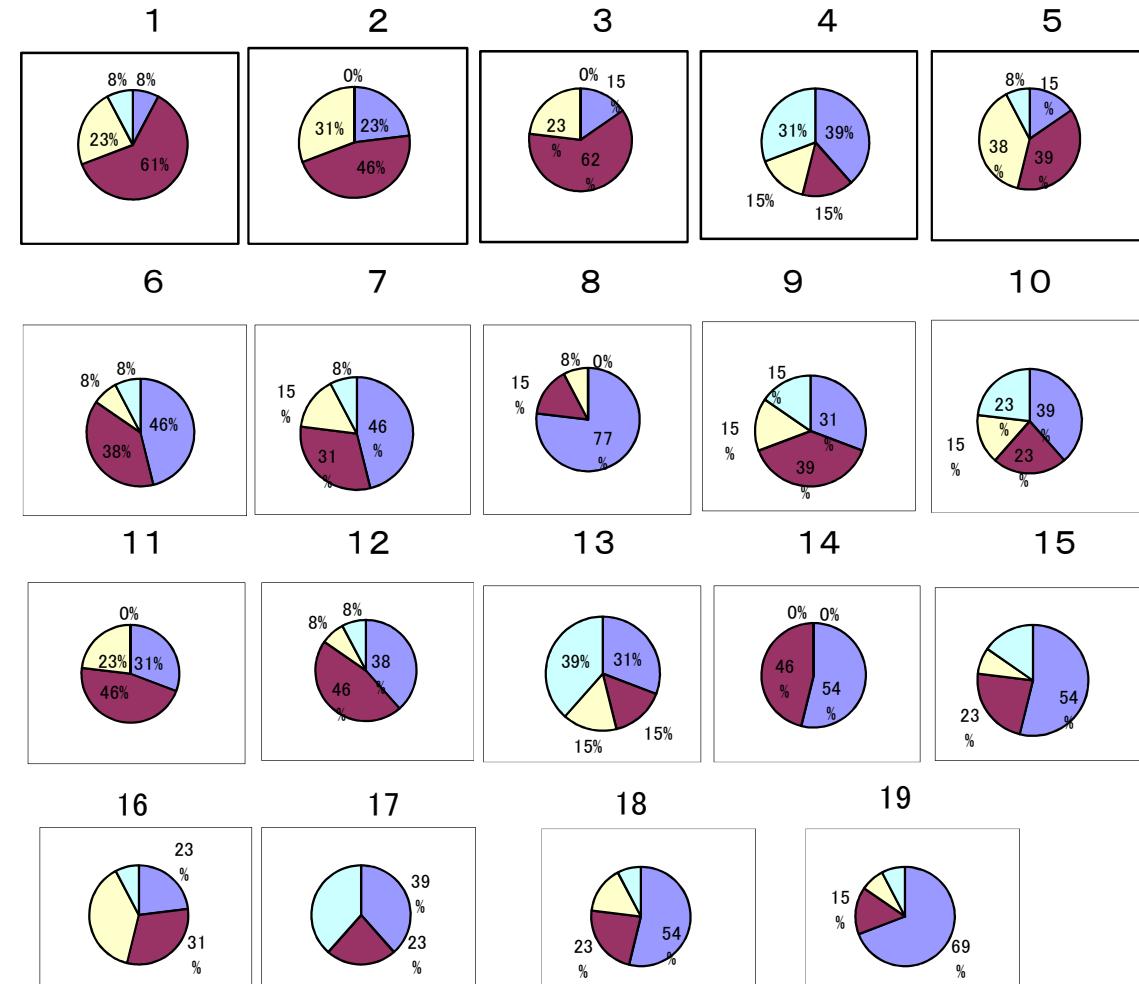


# 平成26年度後期 学校評価アンケート結果

## アンケート結果(児童・生徒)

番号	質問	評価(人数)				
		A	B	C	D	計
1	勉強はよく分かる	1	8	3	1	13
2	勉強や集会ではしっかりと話が聞けている	3	6	4	0	13
3	自分から元気なあいさつができる	2	8	3	0	13
4	学校で、読書をがんばって取り組んでいる	5	2	2	4	13
5	人にやさしくしている	2	5	5	1	13
6	人からやさしくしてもらっている	6	5	1	1	13
7	言葉づかいに気をつけている	6	4	2	1	13
8	友だちと仲良く遊んでいる	10	2	1	0	13
9	掃除や係の仕事はがんばって取り組んでいる	4	5	2	2	13
10	学校は楽しい	5	3	2	3	13
11	学校のルールを守っている	4	6	3	0	13
12	学校行事に熱心に取り組んでいる	5	6	1	1	13
13	困ったとき、相談できる先生がいる	4	2	2	5	13
14	困ったとき、相談できる友だちがいる	7	6	0	0	13
15	朝食は必ず食べて学校に来ている	7	3	1	2	13
16	早寝早起きをしている	3	4	5	1	13
17	家でも読書に取り組んでいる	5	3	0	5	13
18	家でよく話をする	7	3	2	1	13
19	近所の人にもあいさつをしている	9	2	1	1	13

## パーセント



・前期に比べ、「A」評価が増えてきている。特に、「学校が楽しい」「人からやさしくしてもらっている」「友達と仲良く遊んでいる」の項目はよくなっている。これは、指導すべきことは、その場できちんと指導してきたことや子どもたちが「自分たちもがんばろう」と意識してきたことで、学校が少しずつ良くなっている。一方、子どもたちは「人にやさしくしている」「掃除や係の仕事はがんばっている」の項目が悪い。子どもたちは、自分たちの言動や行動にもきびしい目をもってきたことがうかがえる。しかし、「読書」については、学校と家庭での取組についてより考えいかなければならない。保護者とも協力して一人ひとりにあった支援をしていきたい。さらに、「困ったときに相談ができる先生がいる」の項目があまり変化が見られない。子どもの目線に立った指導の共通理解を図りたい。